

ホームレス
をなくし、

人間らしい生活の実現を

12月10日(金) 本会議

予算と条例の質疑が おこなわれます

国民健康保険の値上げ条例をはじめ、補正予算、自治基本条例、保健所政令市移行に伴う保健所条例など予算と条例に対する質疑がおこなわれます。国保の条例は、日本共産党の殿村議員を含め4人の議員が質疑をおこないます。

来週(13日と14日) 常任委員会が開かれます

- 13日(月) 文教社会と建設の各常任委員会
- 14日(火) 総務と健康福祉の各常任委員会

※健康福祉常任委員会では、**午前10時(予定)**から国保の値上げ条例と「引き上げ中止を求める請願」が同時に審議されます。

お誘い合わせて傍聴にお越しく下さい



殿村健一議員は、ホームレス対策の質問をしました。

長引く経済不況は市民の暮らしに影響を与え、町田駅周辺で野宿を余儀なくされているホームレスが増えています。

この間、相談にのり解決にあたってきた経験も紹介しながら、「一人ひとりのホームレスの人たちに市の職員が直接会って、生活再建のためきめ細かい対応をしてほしい。また、そのためにも担当職員を増やしてほしいがどうか」とたまたまのに対し、担当部長は、「この間、嘱託職員を増やし、窓口業務の改善を進めている」と答えました。

最低制限価格の設定を 検討したい(副市長)

公共施設の総合管理の業務委託について「本庁舎や市民センターで働く労働者の賃金が最低賃金を下回っている」という告発が寄せられる中、安心して生活できる賃金が保障される手だてを

一般質問最終日の9日。日本共産党は殿村健一議員が質問に立ちました。その要旨を紹介します。

とるべきだがどうかとただしました。

鷲井副市長は、「業務委託契約についても、最低制限価格の設定を検討したい」と、最低賃金法が守られる方向での改善を約束しました。また、最低賃金法改定の内容を委託業者に周知する考えを示しました。

高ヶ坂地域の コミュニティバス実現を

高ヶ坂地域に国際版画美術館を通るコミュニティバスを早期に運行させるべきだと質問に対して、都市づくり部長は「国際版画美術館を通る高ヶ坂ルートと成瀬地域の2ルートのマイクロバスでの試走した。来年度、交通管理者との協議、需要調査をおこなう」と、来年度以降の実現にむけ取り組んでいるとの答弁がありました。



日本共産党町田市議団

検索